

平成23年2月5日

平成22年度千臨技細胞診検査研究班

精度管理報告 フォトサーベイ部門

渡邊孝子(帝京大学ちば総合医療センター)
有田茂実(千葉県こども病院)
村田行則(国立国際医療センター国府台病院)
須藤一久(千葉県立佐原病院)
北村真(東邦大学医療センター佐倉病院)
曾川紀子(千葉大学医学部附属病院)
永澤友美((株)江東微生物研究所)
時田和也(JFE健康保険組合川鉄千葉病院)
仙波利寿(千葉大学医学部附属病院)
岩崎聖二(国立がんセンター東病院)
松尾真吾(君津中央病院)
千臨技細胞診検査研究班精度管理委員

目的

インターネットを利用したフォトサーベイによる適切な細胞判定を目的とした。

方法

同定問題9例、症例問題1例を提示。
各施設で画像を閲覧し、設問に対する解答を求めた。

評価

同定問題・症例問題は各1点

A判定 : 9～10点

B判定 : 7～8点

C判定 : 6点以下

平成22年度参加施設数 : 42施設

設問 1

年齢:48歳 性別:女性

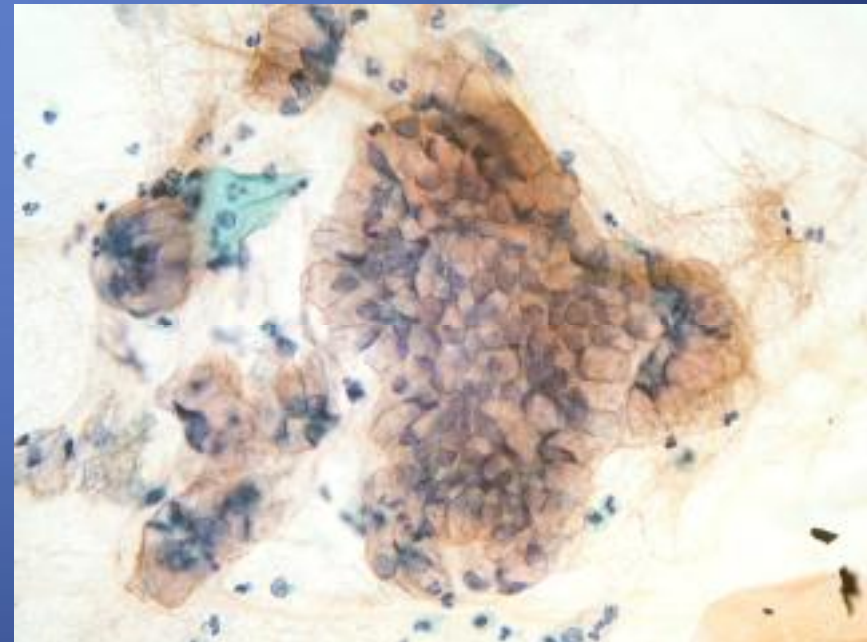
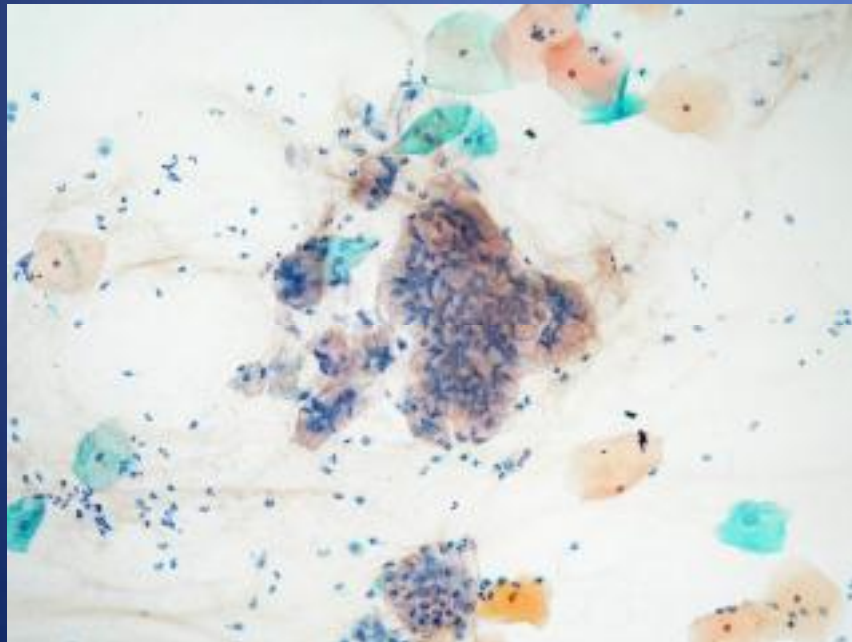
臨床所見:右下腹部痛主訴にて
婦人科受診

採取部位(方法):子宮頸部(綿棒擦過)

倍率:左×20 右×40(Pap染色)

1. 頸管腺細胞 (76.2%)
2. クラミジア感染細胞
3. 増殖期子宮内膜細胞
4. 頸部腺癌(内頸部型粘液性腺癌)(23.8%)
5. 転移性腺癌(大腸癌)

解答: **1. 頸管腺細胞**



設問 2

年齢:37歳 性別:女性

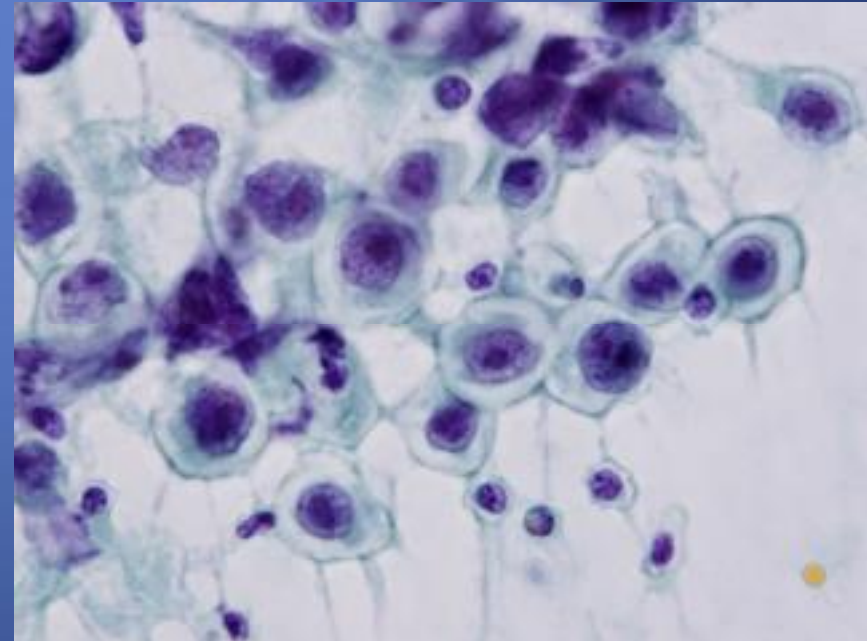
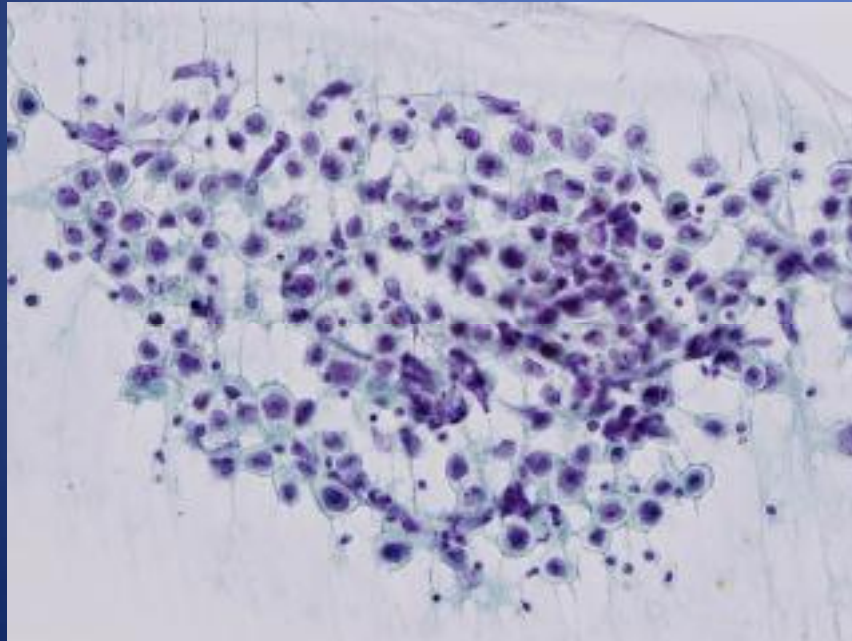
臨床所見:左卵巣腫瘍

採取部位(方法):左卵巣腫瘍(捺印)

倍率:左×20 右×40 (Pap染色)

1. 莢膜細胞腫
2. 顆粒膜細胞腫
3. ディスジャーミノーマ
(未分化胚細胞腫) (100%)
4. 卵黄囊腫瘍
5. 明細胞腺癌

解答: 3. ディスジャーミノーマ
(未分化胚細胞腫)

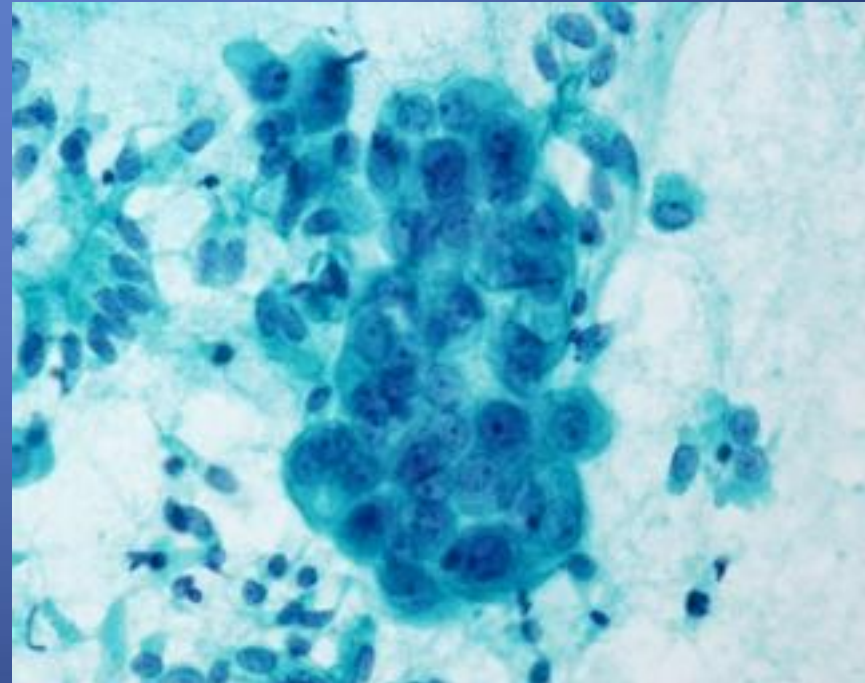
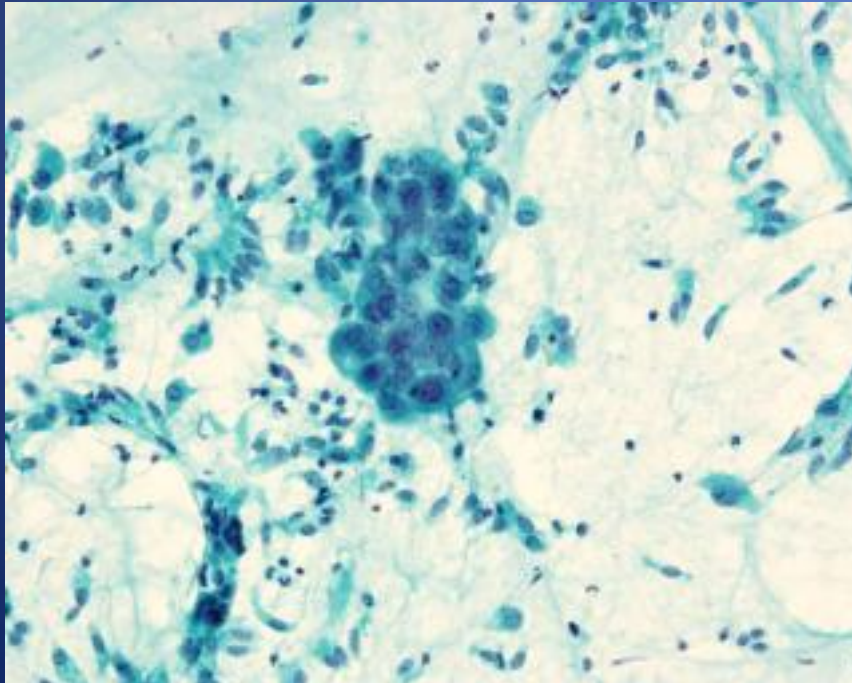


設問 3

年齡:65歲 性別:男性
臨床所見:胸部異常陰影
採取部位(方法):氣管支擦過
倍率:左×20 右×40 (Pap染色)

1. 杯細胞增生 (2.4%)
2. 硬化性血管腫
3. 腺癌 (97.6%)
4. 扁平上皮癌
5. 小細胞癌

解答: **3. 腺癌**



設問 4

年齢:70歳 性別:男性

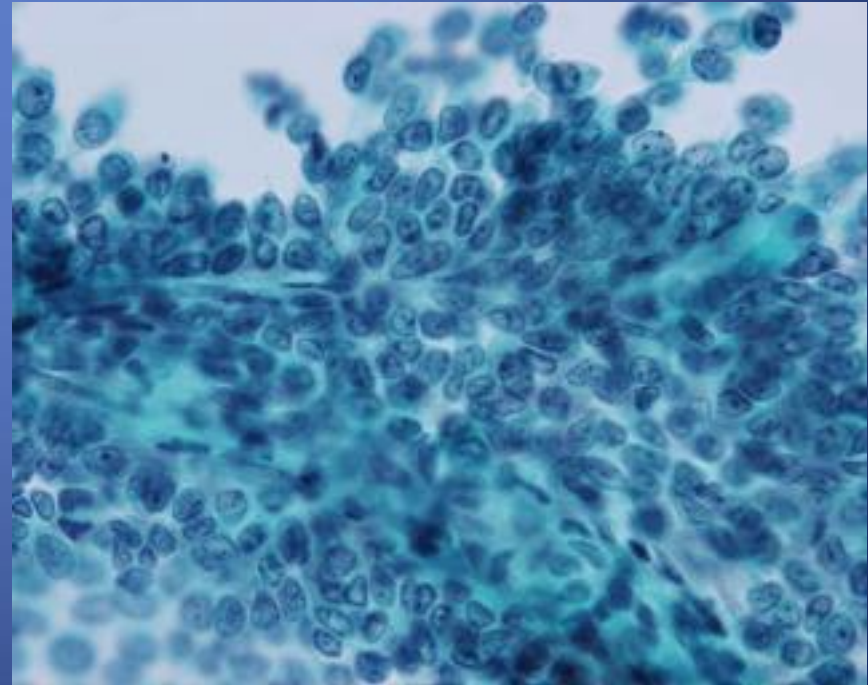
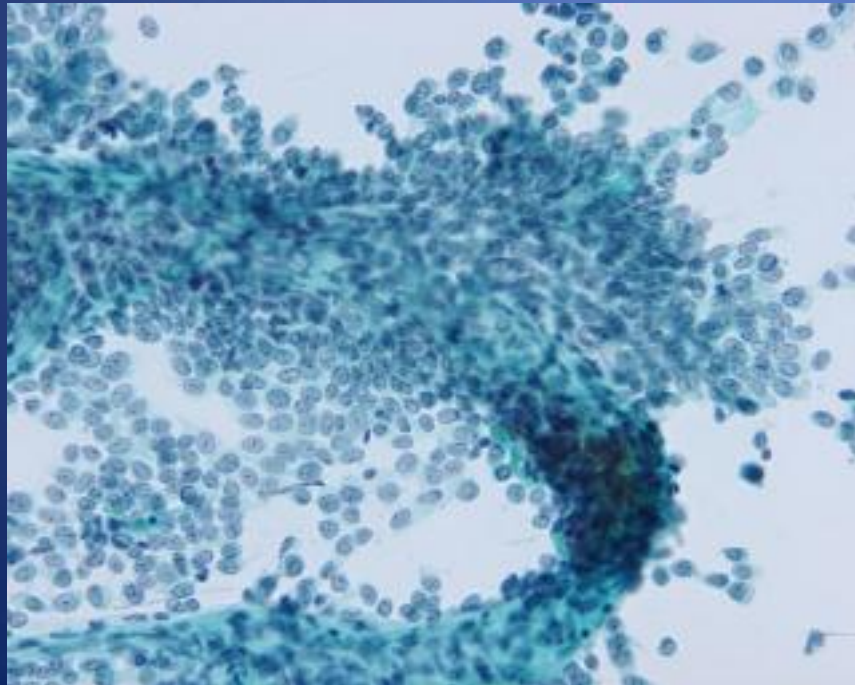
臨床所見:膀胱・尿管腫瘍

採取部位(方法):腎盂洗浄液

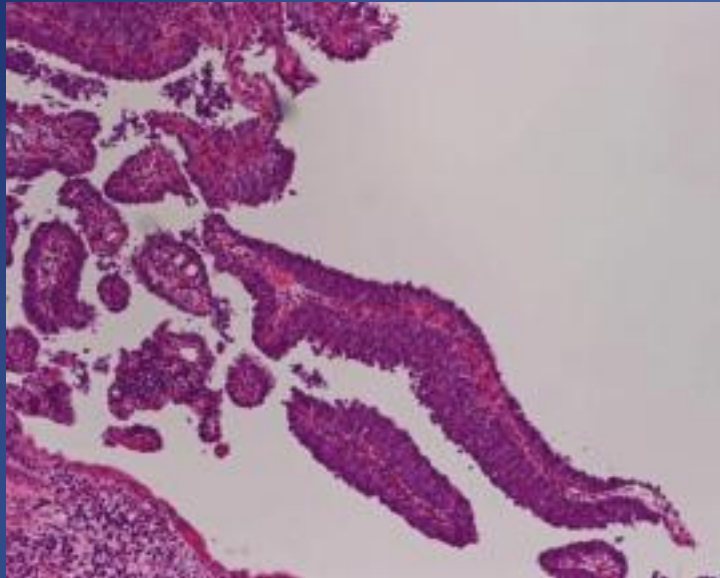
倍率:左×20 右×40 (Pap染色)

1. 反応性尿路上皮細胞 (2.4%)
 2. 異形成
 3. 尿路上皮乳頭腫 (21.4%)
 4. 高異型度乳頭状尿路上皮癌 (Grade2) (73.8%)
 5. 上皮内癌
- その他. 正解なし (2.4%)

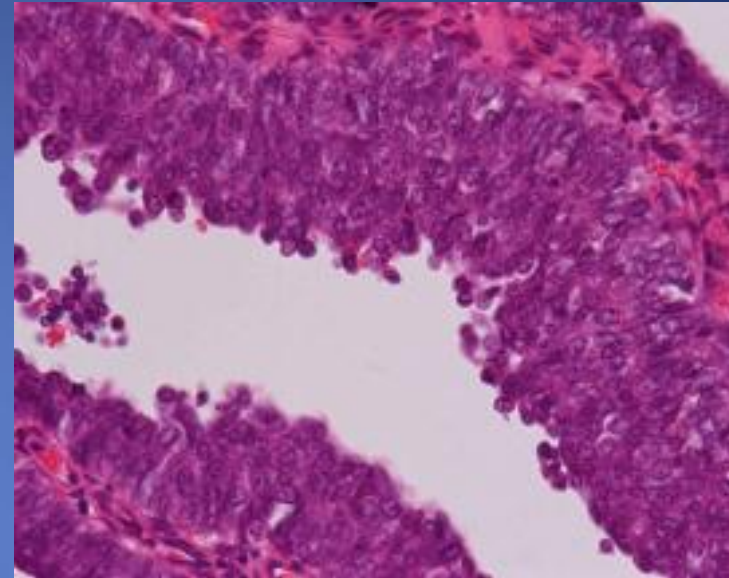
解答: 正解なし



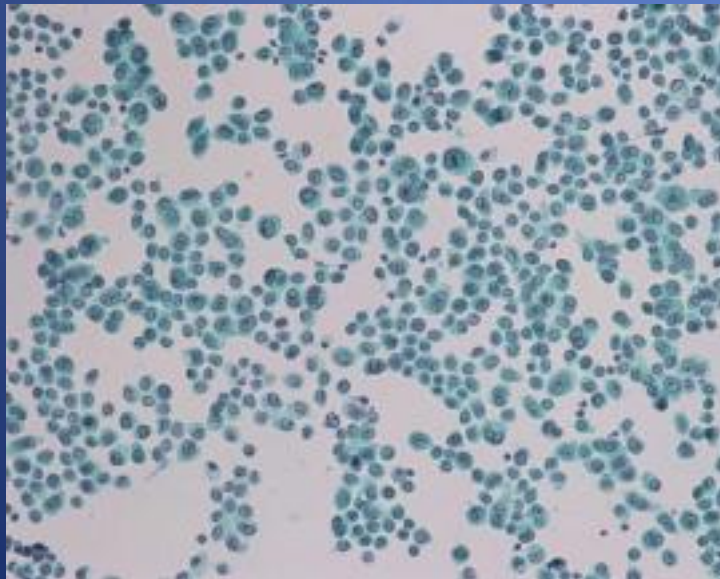
組織診断: Urothelial carcinoma, pTa, G2



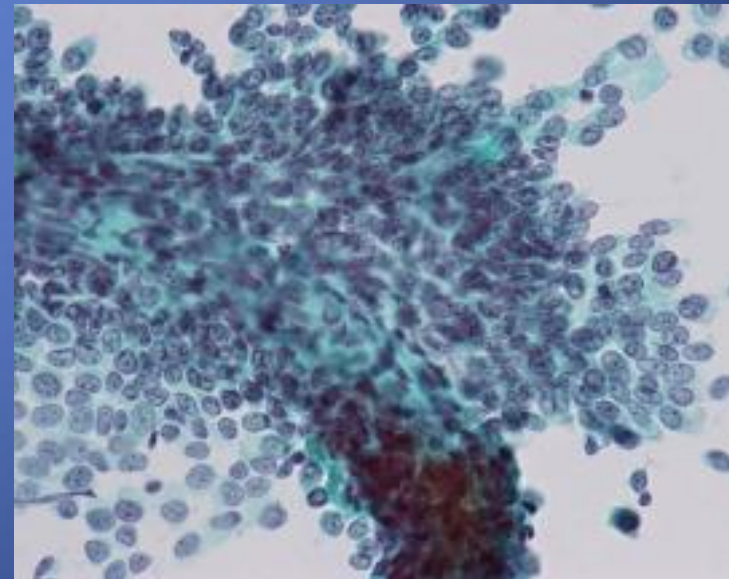
HE染色x10



HE染色x40



Pap.染色x20



Pap.染色x40

設問 4

年齢:70歳 性別:男性

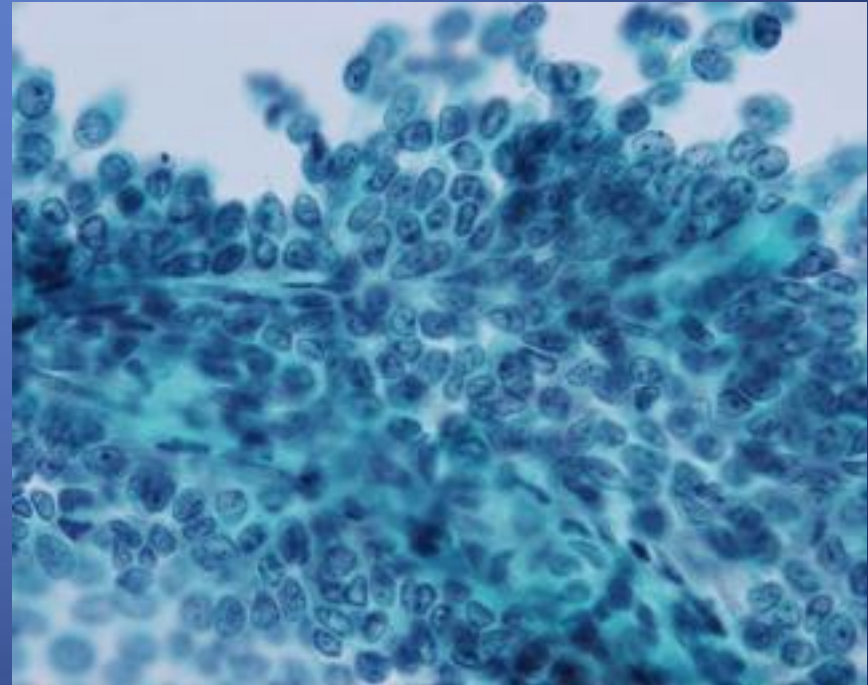
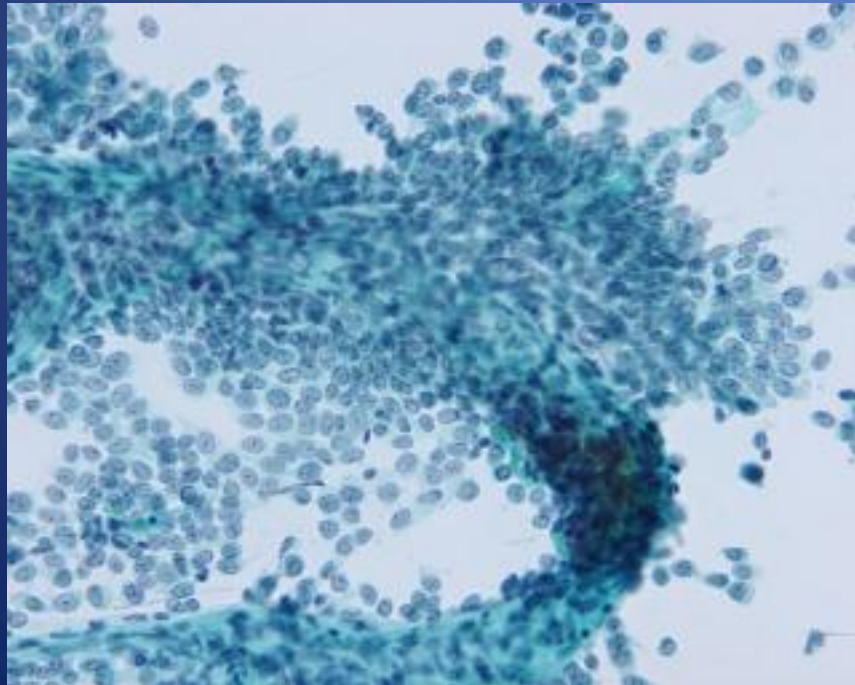
臨床所見:膀胱・尿管腫瘍

採取部位(方法):腎盂洗浄液

倍率:左×20 右×40 (Pap染色)

1. 反応性尿路上皮細胞 (2.4%)
 2. 異形成
 3. 尿路上皮乳頭腫 (21.4%)
 4. 高異型度乳頭状尿路上皮癌 (Grade2) (73.8%)
 5. 上皮内癌
- その他. 正解なし (2.4%)

解答: **正解なし**



設問 5

年齢:65歳 性別:男性

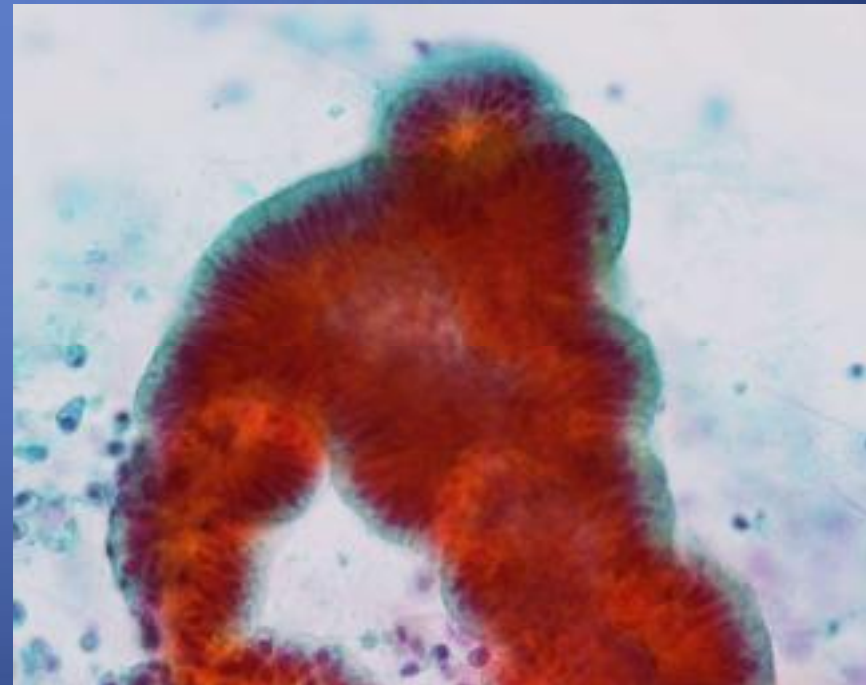
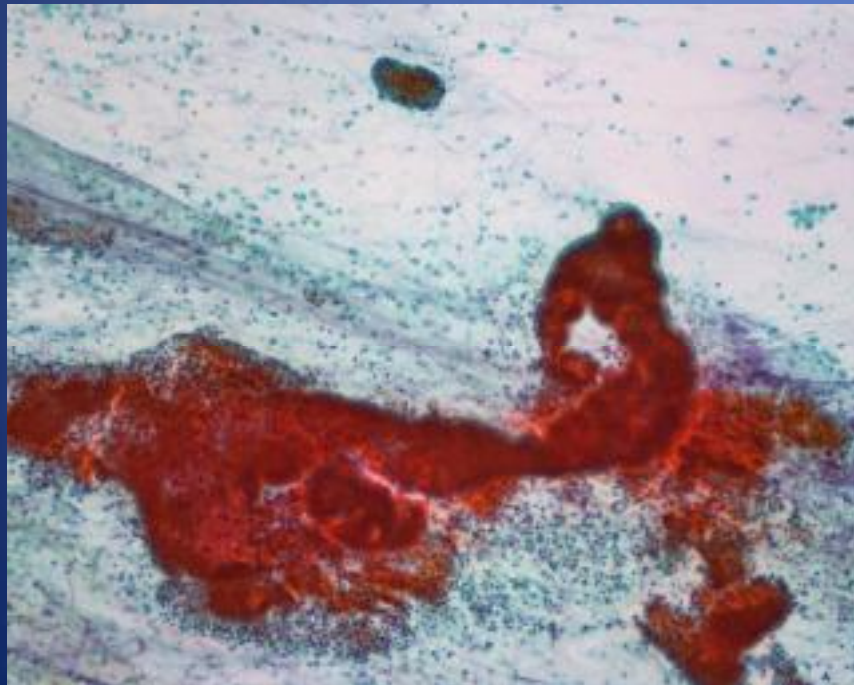
臨床所見:膵頭部嚢胞性病変.IPMN疑い.

採取部位(方法):膵液

倍率:左×20 右×40 (Pap染色)

1. 膵管上皮細胞
2. 膵管内乳頭粘液性腺腫 (92.9%)
3. 膵管内乳頭粘液性腺癌 (7.1%)
4. 管状腺癌
5. 腺房細胞癌

解答: 2. 膵管内乳頭粘液性腺腫



設問 6

年齢:70歳 性別:男性

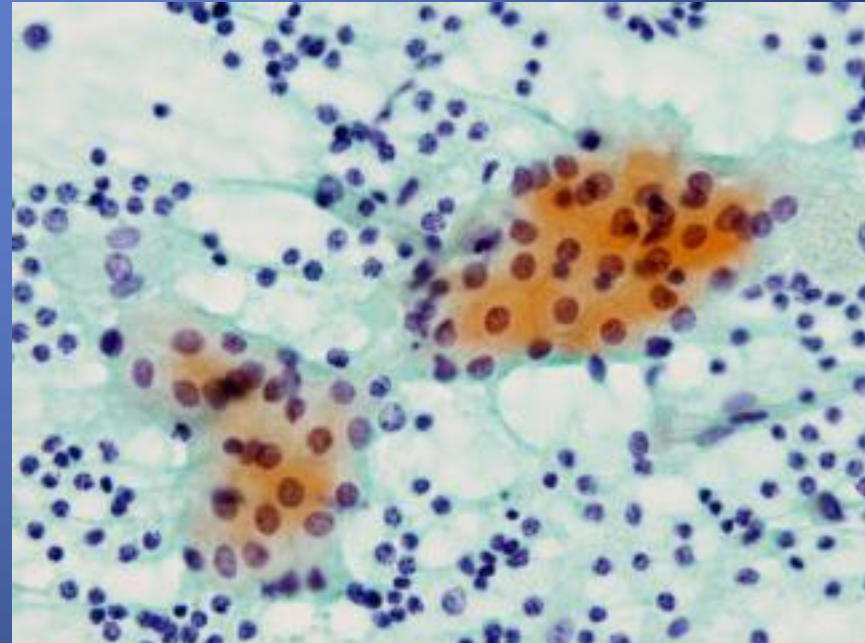
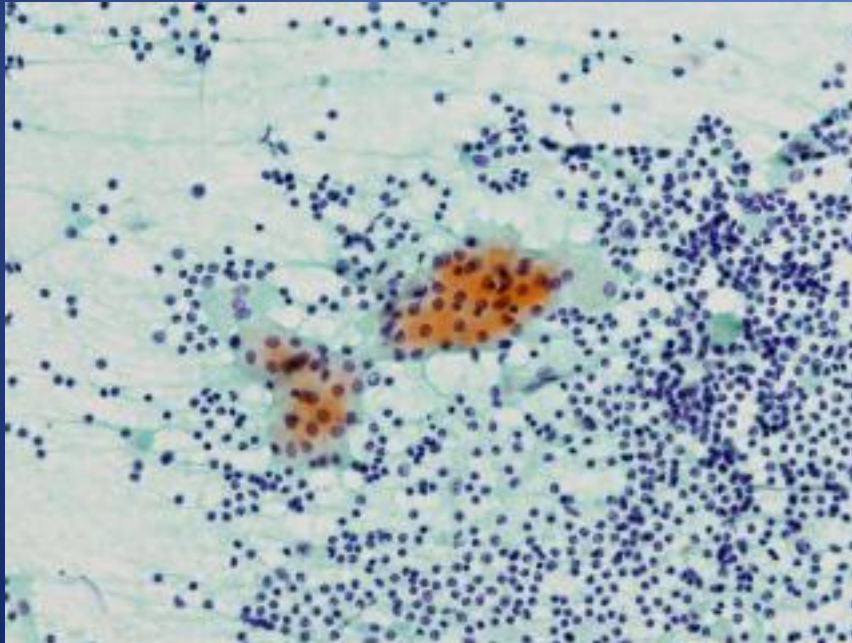
臨床所見:左耳下腺腫瘍

採取部位(方法):左耳下腺(穿刺吸引)

倍率:左×20 右×40 (Pap染色)

1. 腺房細胞
2. 多形腺腫
3. ワルチン腫瘍 (100%)
4. 腺房細胞癌
5. ホジキンリンパ腫

解答:3. ワルチン腫瘍



設問 7

年齢:73歳 性別:女性

臨床診断 頸部リンパ節腫脹

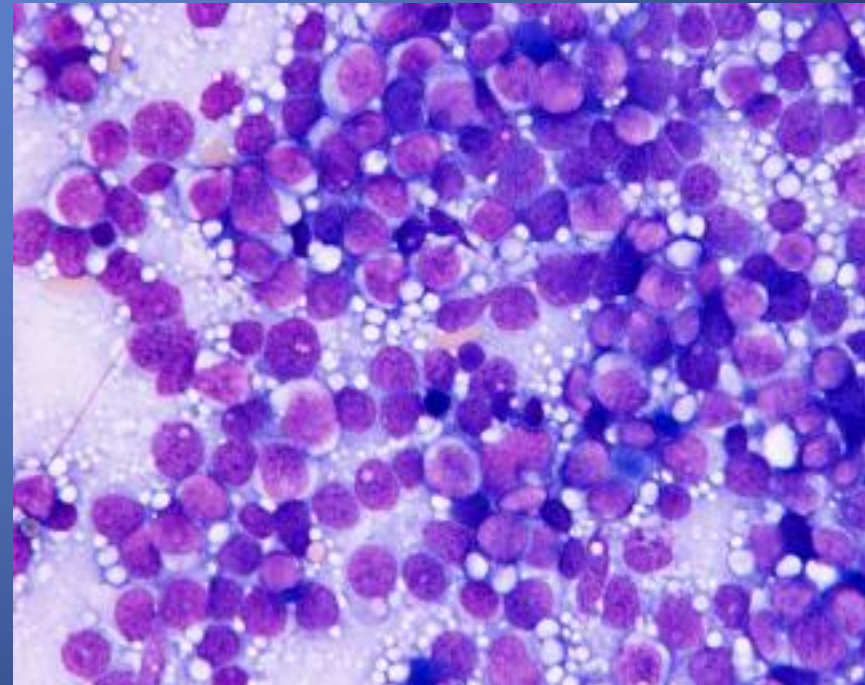
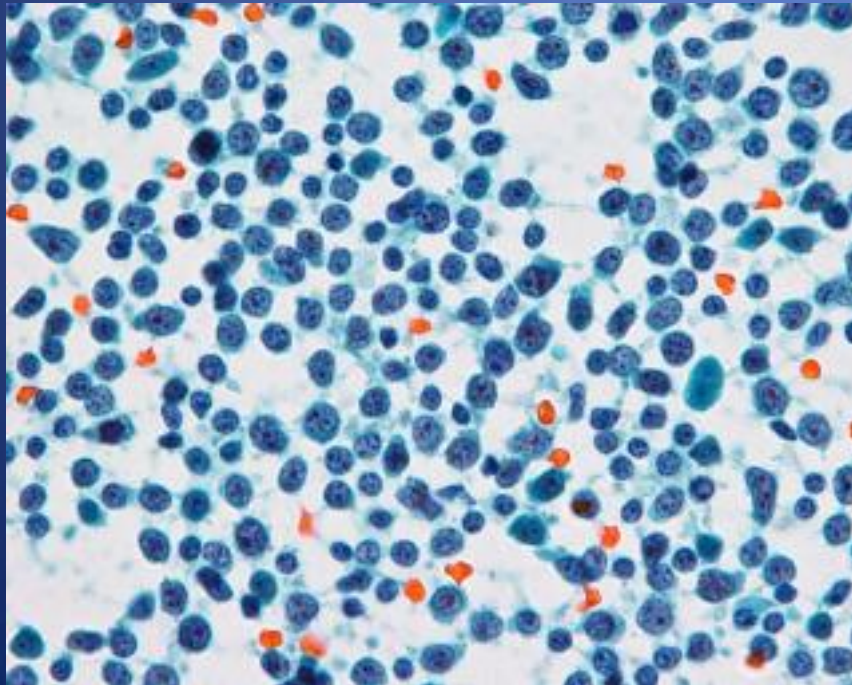
採取部位(方法):頸部リンパ節捺印

倍率:左×40(Pap染色)

右×40(Giemsa染色)

1. 反応性リンパ濾胞過形成 (7.1%)
2. 壊死性リンパ節炎
3. ホジキンリンパ腫
4. 非ホジキンリンパ腫 (90.5%)
5. 形質細胞腫 (2.4%)

解答:4. 非ホジキンリンパ腫
(Diffuse large B cell lymphoma)



設問 8

年齢:46歳 性別:女性

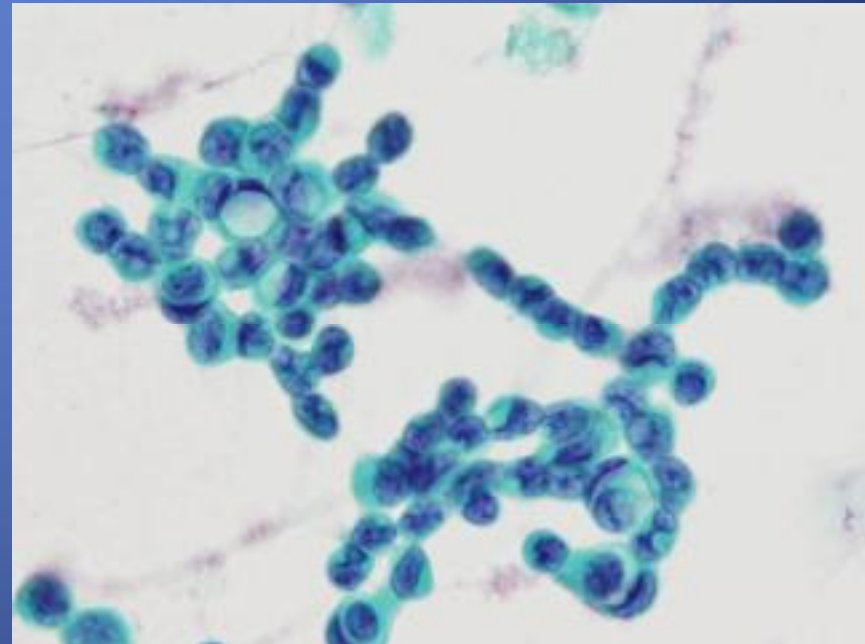
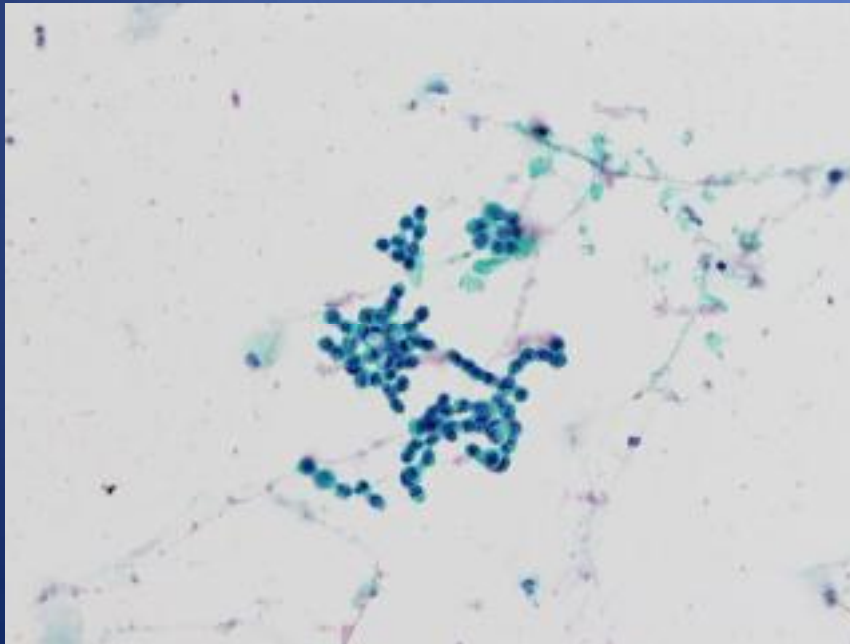
臨床所見:乳癌の既往

採取部位(方法):脳脊髄液(穿刺吸引)

倍率:左×20 右×40 (Pap染色)

1. リンパ球
2. 白血病細胞
3. ホジキンリンパ腫
4. 非ホジキンリンパ腫
5. 転移性乳癌 (100%)

解答:5. 転移性乳癌(腺癌)



設問 9

年齡:66歲 性別:男性

臨床診斷:腦腫瘍

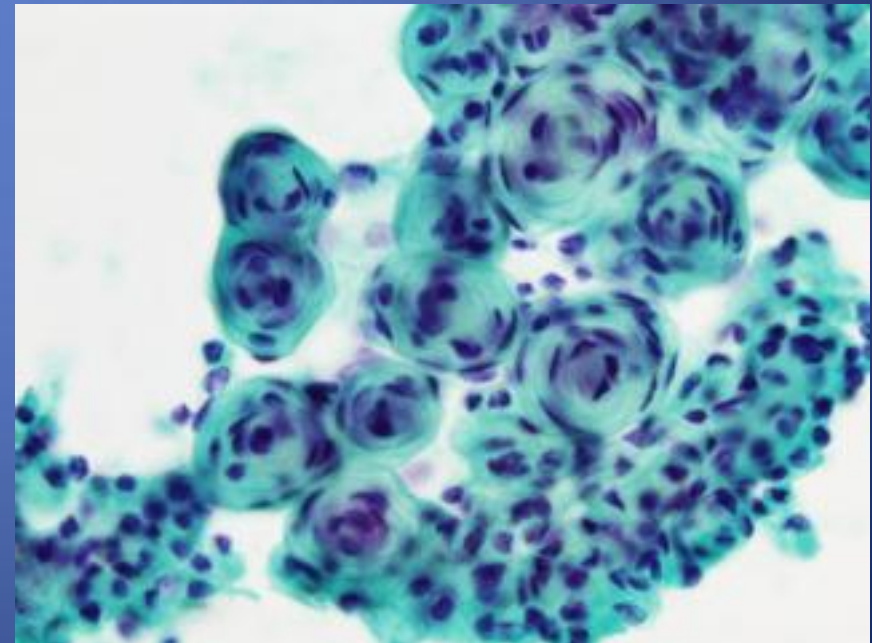
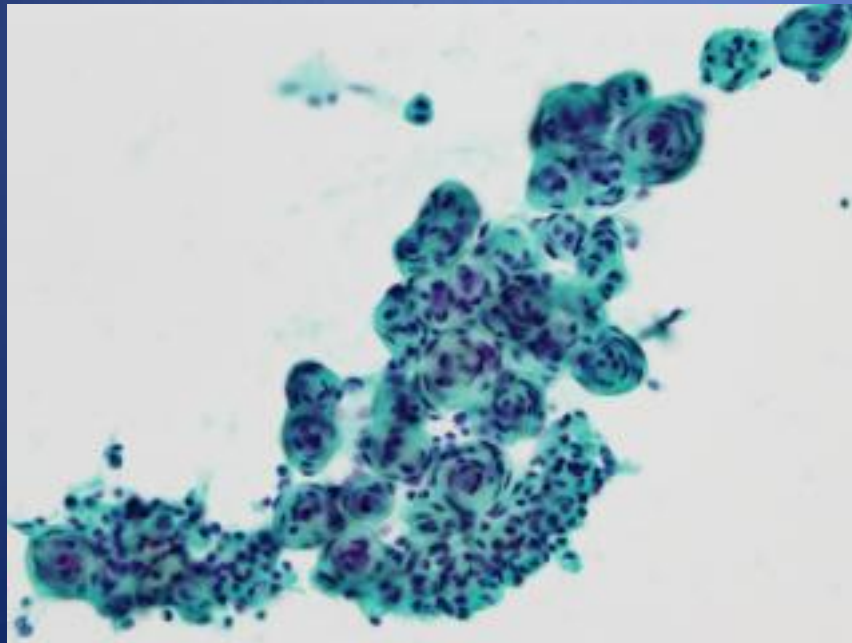
採取部位(方法):腦腫瘍捺印

倍率:左×20 右×40 (Pap染色)

1. 神經鞘腫
2. 神經膠腫
3. 神經芽腫
4. 髓膜腫
5. 頭蓋咽頭腫

(100%)

解答:4. 髓膜腫



症例問題

年齢:54歳 性別:女性

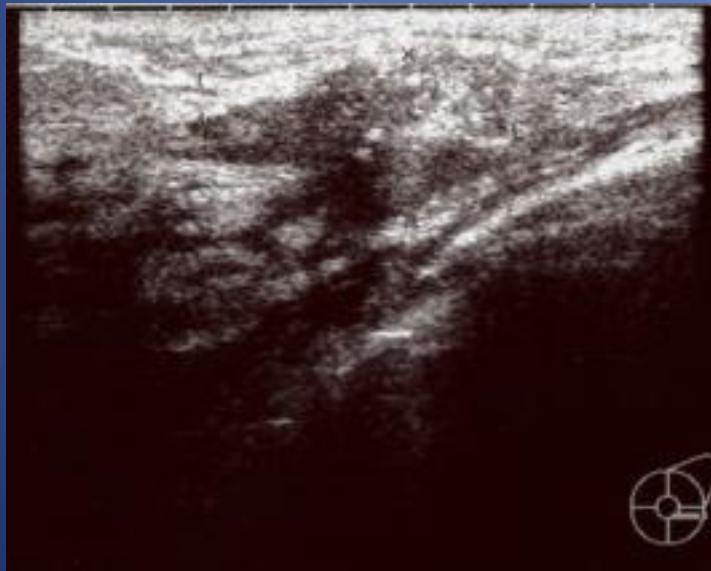
既往歴:特になし

臨床所見:左乳房D領域に腫瘤を触知.

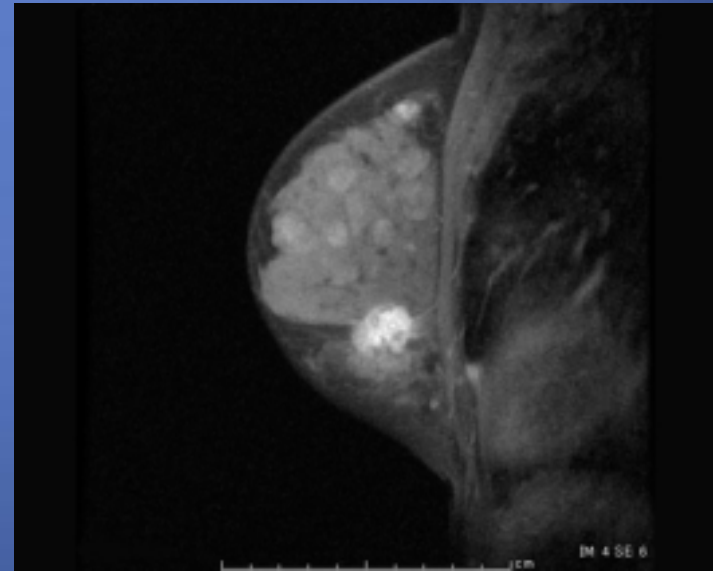
超音波所見:25.9×21.2×14.5mmの境界不明瞭で辺縁不整な腫瘤. 微小石灰化(+).

MRI:20mm大の境界明瞭で辺縁不整な腫瘤. 微小石灰化(+).

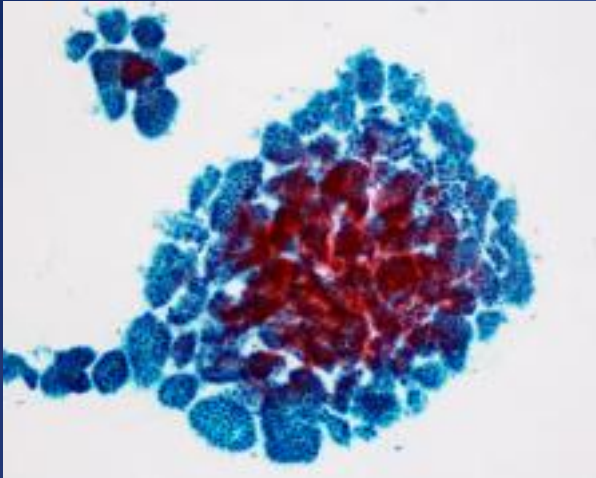
採取法:乳腺穿刺吸引



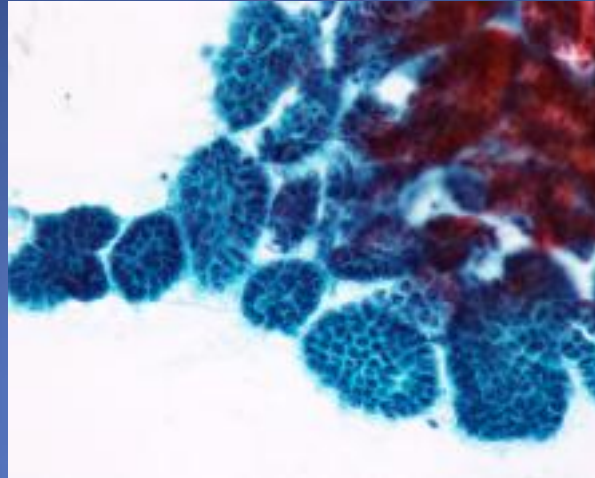
超音波



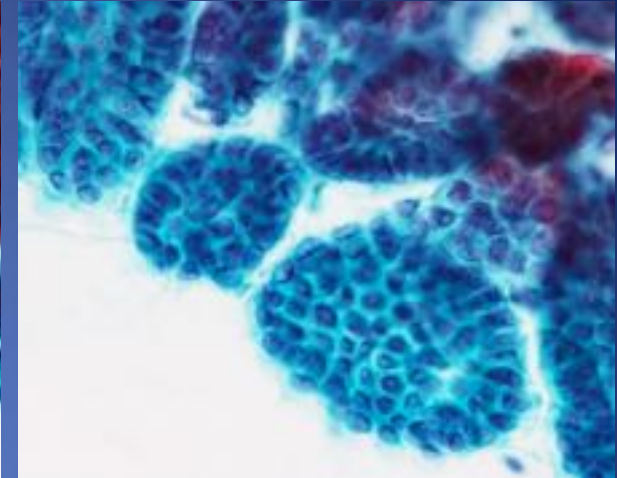
MRI



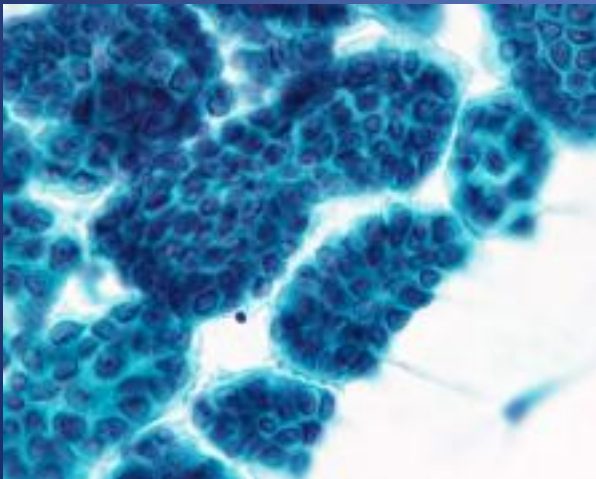
Pap.X10



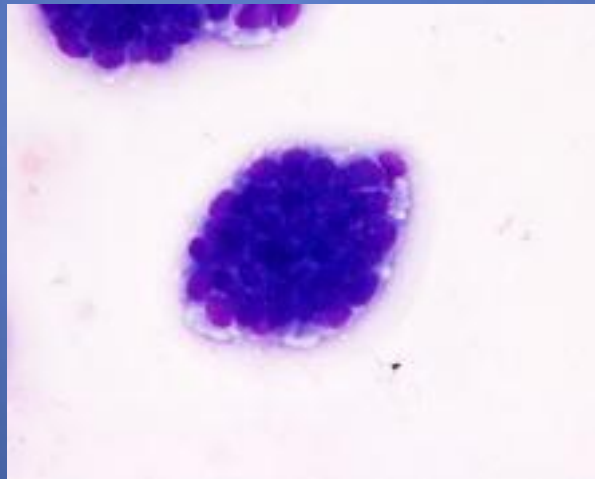
Pap.X20



Pap.X40



Pap.X40



Giemsa染色

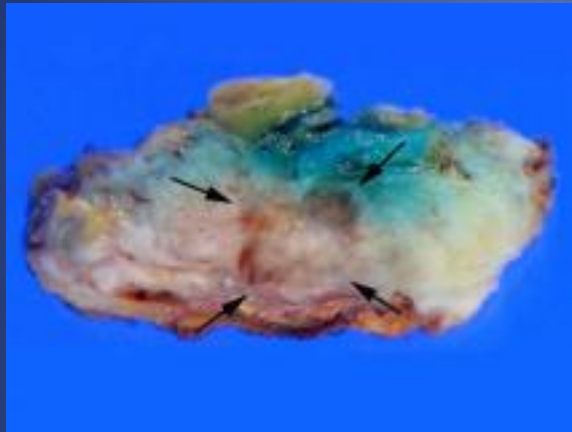
1. 乳管内乳頭腫
2. 線維腺腫
3. 管狀癌
4. 浸潤性微小乳頭癌(90.5%)
5. 乳頭腺管癌(9.5%)

解答: 4. 浸潤性微小乳頭癌

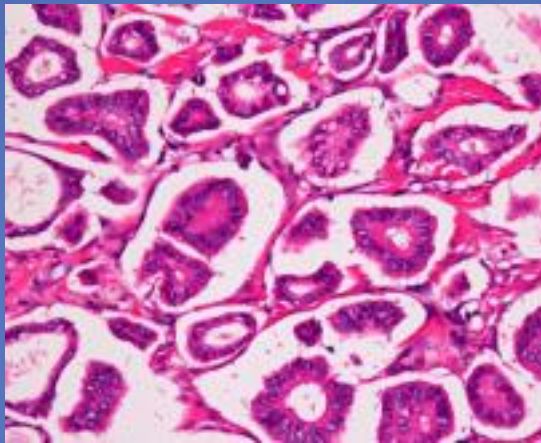
病理組織診断

Invasive micropapillary carcinoma(以下IMPC)

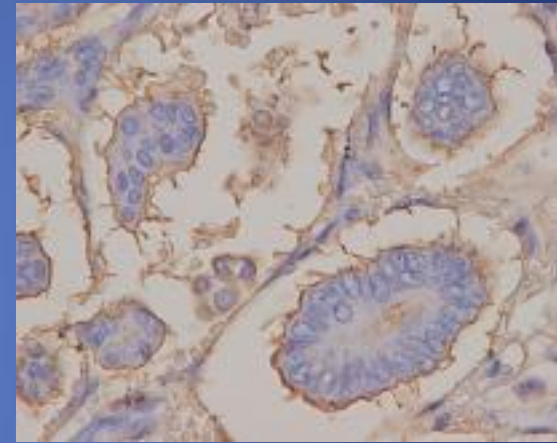
TNM: T1N0M0,stage I



マクロ画像



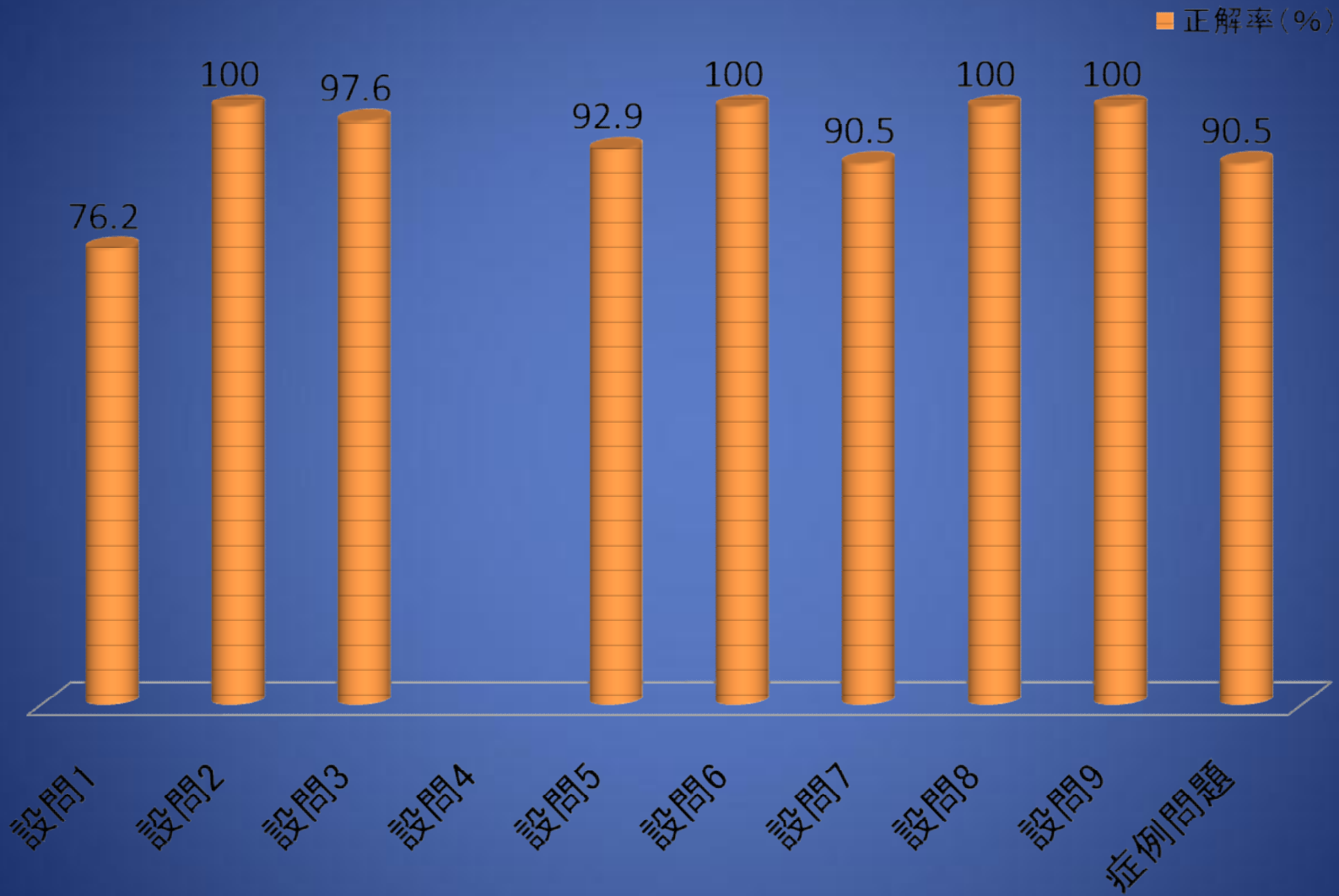
HE染色x20



EMA

浸潤性微小乳頭癌は,2008年改訂 乳癌取扱い規約【第16版】より特殊型の中に分類され、『偽乳頭状あるいは微小腺管構造を示す癌細胞の集塊を裂隙中にみる. しばしば脈管侵襲を伴う.』と記載されている.

平成22年度フォトサーベイ設問別正解率



評価

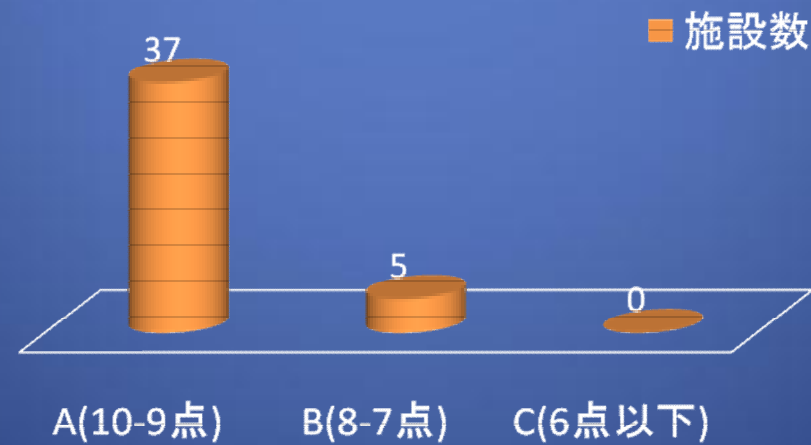
同定問題・症例問題は各1点

A判定 : 9~10点

B判定 : 7~8点

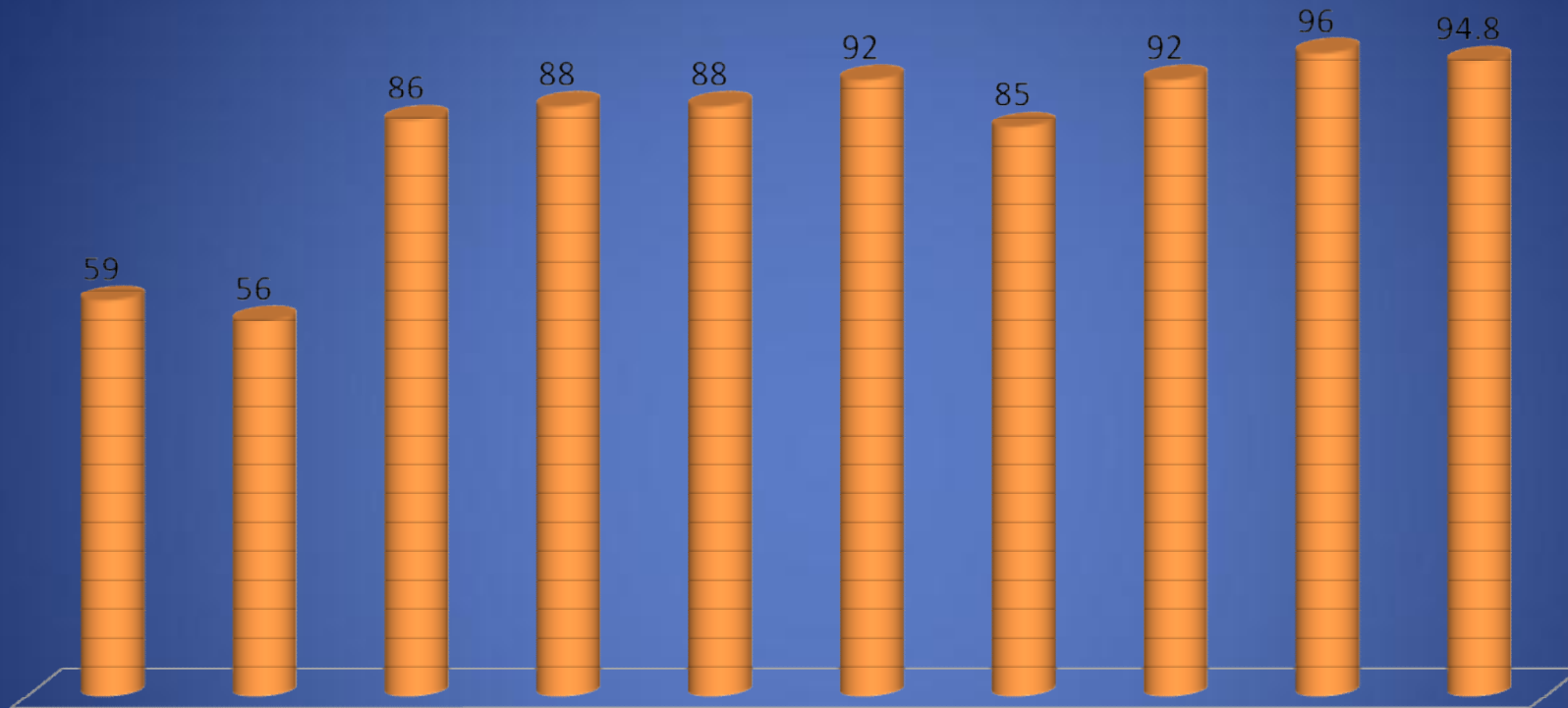
C判定 : 6点以下

平成22年度参加施設数 : 42施設



正解率の年次推移

■ 正解率(%)



13年度 14年度 15年度 16年度 17年度 18年度 19年度 20年度 21年度 22年度

記述式で開始

選択肢を導入

出題数増加

アトラス作成

提示画像枚数増加

ベセスダシステム
標本評価問題導入

総括

泌尿器の設問は不適當問題と考え正解なしとした。

尿路上皮癌(G2)には低異型度のものと高異型度のものが含まれ、混在することもある。提示画像は低異型度乳頭状尿路上皮癌とすべき細胞像であったが、選択肢が高異型度乳頭状尿路上皮癌(G2)となっていたため混乱を生じさせてしまった。

また異型度の分類基準に関しては、尿路上皮癌取扱い規約改訂を前にまだ定まっておらず、今後の課題としたい。

症例問題は近年乳癌取扱い規約に新しく取り入れられた浸潤性微小乳頭癌を提示し90%の高い正解率が得られた。新しい組織型の細胞像も多くの人に認識されている事が伺える。

フォトサーベイに用いた画像の一部は千葉県臨床検査技師会ホームページの『細胞アトラス』に所見・詳細とともに掲載する予定である。

今後もインターネットを利用した精度管理業務を継続し、よりよい情報の発信源となることを目指したい。